

ナース通信 第3号

皆さん、こんにちは！

COVID-19感染拡大が油断できない状況ですが、いかがお過ごしでしょうか？ 朝晩は少しずつ過ごしやすくなり、秋の訪れが近づいてきましたので、体調を崩さないように気を付けてください。

第3回は、小児医療センターの近況をお知らせします。

🌀 救急看護研修の様子をご紹介します

今年4月に入職した新人看護師は入職して半年が経過し、配属部署によっては夜勤トレーニングも開始されています。そして9月の研修では、小児救急認定看護師から救急看護について講義を受けて、各部署の教育担当主任の支援を受けながら、実技のトレーニングに励みました。また、救急カートの中に何が入っているか、院内のAEDはどこに設置されているか、一つ一つ確認しながら救急蘇生の技術・知識を習得しました。



🍁 ボランティア活動が再開されました。



新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、休止していたボランティア活動が再開しました。セラピードックやホスピタルクラウン（ピエロ）がやってきて、子どもたちを楽しませたり癒したりしてくれます。働いている私たちも癒されます。

🍁 ゴールドセプテンバーキャンペーン



9月は世界的に小児がん啓発月間のため、今年も小児がん拠点病院としてイベントに賛同し、埼玉県では、9月11日（月）にさいたまスーパーアリーナがゴールドにライトアップされ、当センターの正面玄関前のシンボル「カリヨンの鐘」も併せてゴールドにライトアップしました。このイベントは、小児がんへの理解と支援を呼びかけるため、イメージカラーはゴールドで、日本全国の名所やシンボルがライトアップされました。9月末には、リレーフォーライフにも参加しました。

